

<地域密着型サービス事業の整備計画について>

1. 第7期介護保険事業計画（H30～R2）の期間中の整備計画について

平成31年3月において、令和元年度中に整備予定の定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所を公募した結果、1事業所が決定し、現在、年度内の事業所立ち上げに向けて準備を進めているところである。

第7期期間中においては、他に整備する施設の予定は無いが、今後の需要見込みを推計していく中で、来年度策定予定の第8期計画の中で今後の施設整備を検討していく。

2. 今後の検討が必要なサービス

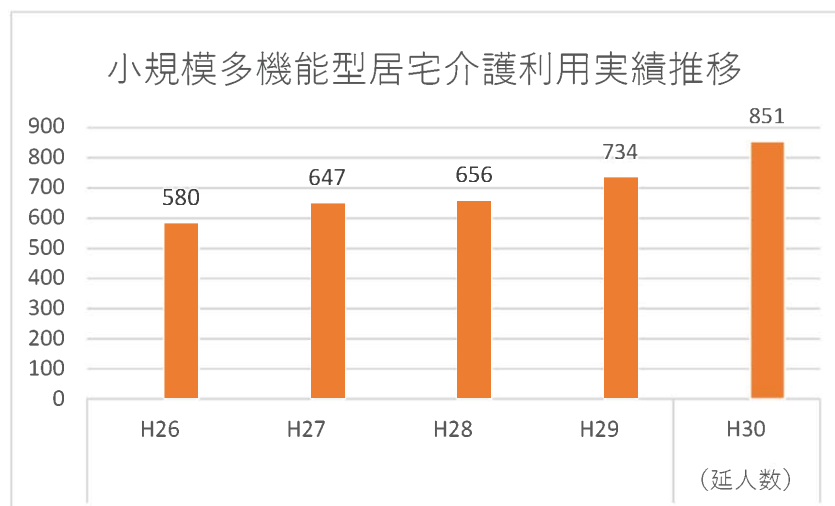
1) 認知症共同生活介護（グループホーム）

加東市には3施設45床あり、各生活圏域ごとに1施設ずつ整備されている。待機者や入所者の状況を調査した結果では、どの施設も多数の待機者はないが、今後においても現在の床数で対応が可能であるかを分析する必要がある。

	施設数	定員
社圏域	1	9
滝野圏域	1	18
東条圏域	1	18
合計	3	45

2) 小規模多機能型居宅介護

加東市には3施設あり、各生活圏域に1施設ずつ整備されている。近年の利用ニーズの増加に伴い、今後利用者の増加も想定されるため、現在の施設数で対応が可能であるのかを検討する必要がある。



### 3) 看護小規模多機能型居宅介護

現在加東市には無いサービスである。今後、小規模多機能型居宅介護の利用者のうち、訪問看護の組み合わせが必要な利用者が増加した場合は整備していく必要がある。

兵庫県下 30事業所 (令和元年7月末現在)  
うち北播磨 2事業所 (加西市、小野市)

### 4) 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

定員が29人以下の小規模な介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）であり、今後の待機者調査の内容によって、介護老人福祉施設の整備検討とあわせて検討が必要である。

